

(別紙様式)

# 平成19年度 学校経営の改革方針

三重県立いなべ総合学園高等学校

## 目指す学校像(基本理念)

### < 目指す生徒像 >

自主・自律の意志と常に人を思いやる心を持ち、日々謙虚に勉学・スポーツに努力を惜しまない青年

### < 目指す学校像 >

東海地区最大の単位制総合学科高等学校として、一人ひとりの生徒が主体的に切磋琢磨し合いながら長所を伸ばし、将来を見据えて自ら定めた進路保障を実現し得る活気ある「いなべ総合学園」

### < 開かれた学校づくり >

地元から信頼され、人々が学び高め合う「いなべコミュニティスクール」として地域の生涯学習機関の一翼を担う「学びのプラザ」

## 現状と課題

### < 中長期的な本校の目標 >

員弁高等学校創立80周年の伝統の上に、平成13年4月より新生「いなべ総合学園」と改称し、第4期生を送り出し7年の節目を迎えました。今こそ、北勢地区唯一の大規模総合学科高等学校として特色ある基盤定着の重要な時期だと考えています。  
自ら主体的に学びたい生徒の一人ひとりに応えられる学校を目指します。  
生徒並びに保護者の多様なニーズに応じた進路を叶えられる学校を目指します。  
地域と密着した具体的な取り組みの実践を進めます。

### < 具体的な課題 >

大規模な総合学科高校として、一人ひとりの生徒の学習ニーズに即応できる入念な授業の改善・工夫及び他機関との更なる連携強化、そして評価方法の研究等の必要があります。  
基礎学力の定着を図るとともに、基本的な生活習慣を着実に身につけさせる必要があります。  
環境美化と公共物愛護の心、そして人を思いやる気持ちを育てる必要があります。

(別紙様式)

## 中長期的な重点目標

### 1 教科指導

#### [一人ひとりの生徒の長所を伸ばします]

基礎・基本の学力の着実な修得に努めるとともに、自ら定めた学習目標に向かって意欲的に取り組む生徒の育成を図ります。  
授業の創意工夫と改善に努め、きめ細かい授業を展開します。  
生徒が希望する資格取得に一層努めます。

### 2 進路指導

#### [進学指導並びに就職指導を入念に行い、進路保障の徹底に努めます]

生徒一人ひとりの進路希望に応じた体制を整えます。  
希望する大学進学の実現を図ります。  
生徒のニーズに適った就職内定 100%可能な学校を実現します。

### 3 生徒指導

#### [全校体制で基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てます]

社会人としての常識を身につけるとともに、向上心をもって忍耐力・判断力・実践力の習得に努める生徒を育成します。  
挨拶が明るく交わされ、遅刻・早退のない規律ある学校づくりを推進します。

#### [生徒を中心とした人権教育を推進します]

人を思いやる気持ちの醸成を図ります。  
命を大切にすることを基軸に安全教育・防災教育の徹底に努めます。  
人権・同和教育を充実させ、生徒主体の「開かれた学校づくり」推進事業を実践します。

#### [学校保健と環境美化の充実を図ります]

自身の健康に目を向け、主体的に健康な生活ができる力を育てます。  
環境美化の推進に努めるとともに、「ものを大切にする心」の育成を図ります。

#### [部活動や学校行事をさらに活発にします]

クラブ活動を奨励し、充実と強化に取り組みながら、学校の活性化に努めます。

### 4 開かれた学校づくり

「県内唯一の大規模総合学科単位制高等学校である本校を、地域社会に情報発信し、地域社会との連携を図ります」

### 5 業務の取組方針

引き続き危機管理体制の整備を図り、安全な学校づくりを進めます。  
学校経営品質に取り組み、組織能力の向上に努めます。

(別紙様式)

## 本年度の計画

### 1 教科指導

#### [一人ひとりの生徒の長所を伸ばします]

基礎・基本の学力の着実な修得に努めるとともに、自ら定めた学習目標に向かって意欲的に取り組む生徒の育成を図ります。

授業規律の確立に努め、学習意欲を高める雰囲気をつくります。

授業遅刻の昨年度以下を目指します。

課外授業・模試・資格試験への積極的な参加を奨励し、170科目以上の選択科目を活用して生徒個々の長所を伸ばします。

『産業社会と人間』『I V Yタイム』の有効的活用、およびキャリア教育の充実を通じて生徒個々に学ぶ意味を考えさせ、意欲の向上を図ります。

授業の創意工夫と改善に努め、きめ細かい授業を展開します。

研究授業を積極的に行います。(各教科科目年1回以上実施)

生徒アンケート「わかりやすい授業が受けられる」評価の昨年度以上を目指します。

生徒が希望する資格取得に一層努めます。

授業内や放課後指導可能な資格を調査し、資料を生徒に提供します。

資格取得を奨励し、個別指導に努めながら合格率を向上させます。

### 2 進路指導

#### [進学指導並びに就職指導を入念に行い、進路保障の徹底に努めます]

生徒一人ひとりの進路希望に応じた体制を整えます。

自己の進路目標を明確に持たせるため、進路講話・個別面談等を充実させます。

『産業社会と人間』『I V Yタイム』を活用すると共に、更に充実させるため、各年次・生徒個々に応じた計画を策定します。

課外授業・小論文指導・面接練習を更に充実させます。

希望する大学進学の実現を図ります。

大学入試センター試験出願者および国公立大学合格者の増加を目指します。

国公立大学受験者推薦15名以上、一般15名以上を目指します。

国公立大学合格者15名以上を目指します。

生徒のニーズに適った就職内定100%可能な学校を実現します。

就職に関する情報をできる限り公開し、生徒の選択幅を増やします。

### 3 生徒指導

#### [全校体制で基本的生活習慣を身につけた生徒を育てます]

社会人としての常識を身につけるとともに、向上心をもって忍耐力・判断力・実践力の習得に努める生徒を育成します。

全職員で定期的に登下校指導を行い、基本的生活習慣の確立に努めます。

校内巡回を徹底させ、生徒の実態を把握することにより、規律ある学校づくりを推進します。

駐輪場指導を行い交通安全意識を徹底させるとともに規範意識を育てます。

頭髮服装指導を定期的に行い、見だしなみについても高校生としての自覚を促します。

挨拶が明るく交わされ、遅刻・早退のない規律ある学校づくりを推進します。

朝の登校指導等を通して、誰とでも自然に挨拶を交わせるような雰囲気づくりに努めます。

家庭との連絡を密にして、遅刻・早退等のない学校づくりに努めます。

(別紙様式)

**〔生徒を中心とした人権教育を推進します〕**

人を思いやる気持ちの醸成を図ります。

LHRや学校行事を通じて生徒相互の人間関係の育成に努めます。

個人面談を通じて、多岐にわたる生徒を把握し、理解に努めます。

命を大切にする教育を基軸に安全教育・防災教育の徹底に努めます。

年間2回の防災訓練を行うとともに全校での防災・危機管理教育を行います。

2年次I V Yタイムで健康生活講座「薬物乱用防止教室」を実施し、命の大切さについて考えさせます。

人権・同和教育を充実させ、生徒主体の人権LHRを実施します。

人権学習会にワークショップを取り入れながら、できる限り多くの教職員でとり組めるようにします。

教職員対象の人権研修会を年1回以上実施します。

**〔学校保健と環境美化の充実を図ります〕**

自身の健康に目を向け、主体的に健康な生活ができる力を育てます。

各種検診について、それぞれの目的を理解させ、事前・事後指導を充実させながら健康診断の合理化をすすめます。

健康診断結果は、チューターの共通理解のもとに本人・保護者に向けて健康管理ができるように指導の充実を図ります。

つたわかば祭を通して生徒保健環境委員会の活性化をはかり、集団保健指導を実施します。

事故防止・安全教育について、全教職員が協力して一層の充実をはかります。

カウンセリング室について広報に努め、更に利用しやすい場所にします。

スクールカウンセラーによる講演等を実施し、所蔵の図書やビデオを共有・利用しやすい環境をつくりながら啓発に努めます。

守秘義務に配慮しながら、スクールカウンセラー、教職員、保護者等の連携を大切にし、問題解決に取り組みます。

環境美化の推進に努めるとともに、「ものを大切にする心」の育成を図ります。

学校環境マネジメントの活動として環境問題全般について学び意識を高めます。

清掃とゴミの分別回収の徹底に努め、生徒環境委員の活動を通じて学校環境マネジメント活動に取り組みます。

デポジットの有効活用を奨励します。

**〔部活動や学校行事をさらに活発にします〕**

クラブ活動を奨励し、充実と強化に取り組みながら、学校の活性化を進めます。

全国大会へ前年度以上の出場を目指します。

クラブ加入率の拡充に努めます。

つたわかば祭などの学校行事への取り組みや準備を早期から計画的に行い、一層の内容充実に努めます。

## 4 開かれた学校づくり

**「県内唯一の大規模総合学科単位制高等学校である本校を、地域社会に情報発信し、地域社会との連携を図ります」**

中学生対象の学校見学会等を開催し、総合学科の魅力を紹介します。

生徒の実習授業を通じて、生徒の作品を地域社会に紹介します。

ボランティア部、吹奏楽部等の部活動の中で地域に貢献します。

地域企業と連携して授業内でのインターンシップを行います。

地元大学との高大連携を図ります。

学校情報を学校案内・学校要覧などを用いて積極的に紹介します。

(別紙様式)

昨年度実績を継承し、『いなべ学講座』を実施して、地域文化の情報発信基地としての本校の立場を深化させます。

例年どおり『PTAコンピューター講座』を開催し、保護者のICT活用能力の向上を図ります。

## 5 業務の取組方針

引き続き危機管理体制の整備を図り、安全な学校づくりを進めます。

防災体制の職員周知を進め、研修会を行います。

学校経営品質に取り組み、組織能力の向上に努めます。

研修会を開催して経営品質の理解を進め、本校教育活動の見直しを通じて組織能力向上を図ります。

学校情報能力を高めます。

情報機器の整備を進めます。

ネットワーク研修会を現職教育と位置づけ、管理職を含めて多くの職員が参加するように取り組みます。